


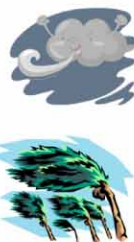
木くぼり

樹木の不思議 35

 No. 69	発行 ' 08-9月
住まい教室 金谷教室	

【杉の林は台風弱い?】

日本は地理的に台風が頻繁に通過する非常に特異な場所に位置しているといつてよいでしょう。強い台風が通過した後、山にはなぎ倒された木々が累々と折り重なることがあります。こうした残骸の山と化した林のほとんどは人工林、しかもスギやヒノキの人工林であることが多いようです。最近では平成3年9月の19号台風が九州から北海道までの日本海側を中心に森林に壊滅的なダメージを与えました。



こうした台風による被害は確かに人工林に発生しやすいのですが、天然林は大丈夫なのでしょうか?スギやヒノキ以外の樹種はどうでしょうか?19号台風では能登半島のアテ、青森ヒバ、白神山のブナ、伊勢湾台風では木曾谷のヒノキ、室戸台風では富士山麓のシラベ天然林が被害を受けています。つまりスギやヒノキの人工林だけではなく、広葉樹林でも針葉樹天然林でも台風被害が発生しているのです。

風に弱い樹形というのは幹が細長く枝張りが少ないもので、典型的なのはほぼ円筒形の通直な幹で材の強度が小さいものです。しかし幹の直径が大きければ物理的強度が増すので、こうした樹形でも太い木ほど折れにくくなります。台風には強いといわれるケヤキは、幹の低い位置から枝が四方八方に張って風圧を分散しているのです。

スギの人工林は台風には弱いかもしれませんが、木材を効率的に利用するためには枝張りの小さい通直な幹が望ましいのです。つまり、台風には強いことと木材利用の効率性とは裏腹の関係にあるのです。

参考資料：森の木の100不思議 ・ 写真：インターネット生物図鑑 他

8月31日(日)【親業】講演会のご案内
会場：㈱ナガイ 2F 会議室 13:00~16:00(予定)
定員 15名

木くぼりの8月号でもお知らせ致しましたが、来る8月31日(日)栃木県在住の親業シニアインストラクター大屋弘子さんを当社にお招きし、講演会を開催致します。

親業とは…『親の仕事の効果的に果たすためのトレーニング』のことです。「能動的な聞き方」で子どもの本当の気持ちを聞き、「わたしメッセージ」で親の気持ちを子どもに率直に語り、親子の間に対立が起きたら、「勝負なし法」でお互いに納得する解決策を見つける。この3つの方法を親が学べば、親子はお互いに相手を理解しあい、対立は気持ちよく解決することができます。この【親業】についてわかりやすく、楽しく、お話して下さいます。親業を学んで風通しのいい、すてきな親子関係を始めてみませんか。

お申し込みは … ㈱ナガイ TEL0547-45-3501 堀田まで

● ナイスわくわくフェア2008 バスツアー行ってきました! ●

東京ビッグサイトの広い会場は、あいかわらず、多くの人で埋め尽くされていました。2日間の来場者数は、30,575人だったそうです。今回のメインテーマには「耐震・制震・免震」が掲げられており、地震に強い家づくりを、わかりやすく学ぶことができました。また、各メーカー自慢の新商品も充実していました。

午後は横浜に立ち寄りしました。中華街やみなとみらい周辺を、それぞれ散策し、夕食は中華料理に舌づつみを打ちました。楽しい夏休みの1日を過ごすことができました。ご参加くださいました皆様、暑い1日お疲れさまでした。そして、

ありがとうございました!

